



大賞

海の生きものさん、

長生きしてね

LC A国際小学校 二年

夏井 来良

「わあ、いっぱいあるな。」6月に、水えいのコーチと5人で海にごみひろいに行った。ビニールぶくろ、ペットボトルのふた、スプーン、おもちゃのてっぽう、クリアファイルなどのごみがあった。ちがさきの海にはこんなにごみがあるんだとびっくりした。ごみをひろう人がほとんど大へんになるから、ごみをすてないほうがいい。まえにあそびに行ったときはおよいでいたから、海ばかり見ていた。ちがさきの海はきれいだと思っていたからびっくりした。「どうせだれかがひろってくれる」

ごみをすてた人はそう思っているんだな。はだしてごみをふんでけがをしてしまうかもしれない。犬がごみを食べてしまうかも。ほかにあぶないことはないかな。海のごみについて本でしらべてみた。

ぜん国で1年で1300万トンのごみが海にすてられると書いてあった。1300万トンはふじ山よりも大きいかな。木などしぜんのごみはこまかくなりなくなっていくが、プラスチックは500年もずつこのりつづけている。人は100さいくらいまで生きるから、プラスチックはすごく長生き。だからプラスチックのごみはせつたいにすててはいけな いと思った。プラスチックごみが太ようにあたったり、なみにゆられて細くなる。細かいものに体にわるいものがついて、それをプランクトンが食べる。魚がプランクトンを食べ、それを人間が食べると、どくになりびょう気になるかも。1年で110万ばの鳥と海がめやあざらしなど10万トンの生きものがしんでいる。ごみを食べたたり、ごみが体からまって、うごけなくなりしんでしまう。そんなのとてもかわいそうだな。わたしはノロちゃんど

いうかめをかってているが、ノロちゃんがごみを食べてしまったらすごくいやだな。すごくかわいそう。わたしはごみをすてた人をぜったいにゆるさない。生きものをたすけたい。海のごみをへらしたい。どうすればいいかな。

夏休みになって、わたしはお母さんとしてんしゃでしやくしよに行つた。ごみについていろいろと聞いてみよう。ごみがどこにもつて行かれるかをしやくしよの人に聞いた。もえるごみ、もえないごみはちがさきしごみしやくしやくしよりしせつにもつていかれる。もやした時に出たはいが、ちがさきしつみ十二天一ばんはいきぶつさいしゆうしよぶん場。もえなかつたごみは、こなごなにして金ぞくとして売る。びん、かん、ペットボトル、プラスチックはさむ川いきりサイクルセンターにもつて行かれる。見学できるごみしより場はあるか聞いたら、さむ川いきりサイクルセンターとつみ十二天一ばんはいきぶつさいしゆうしよぶん場は見学できるとすぐにこたえてくれた。あとちがさきではごみのポイすてや歩きたばこのじょうれいはあるのかな。22じょうでごみを

ポイすてすると、2万円とられるというじょうれいがあると云つてくれた。わたしはこのじょうれいを知らなかつたので、むねがどきどきしてびっくりした。わたしはごみをポイすてしても、なにもとられないと思つていた。しやくしよの人はごみをポイすてしてはいけないと言ふのを、ティッシュに入れる紙に書いてくばつていた。知らなかつた。そんなことをみんなに教えてくれるなんて、しやくしよの人にとてもかんしゃした。かな川けんでは33のしのうちポイすてが27、歩きたばこが15のしでじょうれいできん止されている。ちがさきでも歩きたばこをきんしするじょうれいがあればいいのに。なぜなら、たばこのごみが多いし、歩きたばこをしたり自てん車にのりながらすつている人が多いから。たばこのフィルタは50年間のこると水えいのコーチが教えてくれた。たばこが人についていたり、けむりが口に入ってぜんそくになると、すごくくしいしあんまり外にも出られなくなる。わたしはぜんそくになつたことがあるから、きもちがよく分かる。3人の人が分かりやすいせつめいをしてくれ

たので、わたしは分からなかった。みも分かった。ごみについてたくさんのことを教えてくれるんだな。わたしはしやくしよの人はみんなのためにいろいろと分かってくれているんだなと思った。しやくしよに行くと、いろいろなことを聞けるんだな。

7月27日。さむ川いきりサイクルセンターまで行った。ここはびん、かん、ペットボトル、ようふくをもう一どしげんにするところ。やさしいりサイクルセンターの人が、ぜんぶいっしよにみてまわってくれた。びんは一日に^{12.5}トシげんにされる。「カーン。」と大きな音がした。3人の人がびんの色で上手に分けていた。ちゃ色、白、みどり、くろなどのびんをはこに分けていた。新しいびんにリサイクルしたり、道のりの下のざいりようにもなる。3人はてぶくろを3まいしていた。はへんですぐぼろぼろになってしまう。けがしないようにちやんとやっているんだな。3人はいろいろな人がごみをかたづけしているから、その音がうるさいので耳せんをしていた。ベルトコンベアーはきかいでやっているけど本とうは人

がうごかしている。かんは1日に^{6.8}トンだ。おもいスチール、かるいアルミを分ける。そしてぎよう者に売る。しようみげんのきれたのきものや食べものを中に入れたままごみに出すと、ベルトコンベアーを止めて中みを出さなければいけないので、きちんとあらって出したほうがいい。「リサイクルするためにはかんはつぶさないで出してほしいな。」きかいでつぶすから、へんなふうにつぶすとリサイクル出来なくなっちゃうから。ペットボトルは1日に6トンだ。新しいペットボトルになったり、毛ふ、ようふくになる。出すときは、ふたとラベルはプラスチックで出すといい。ボトルはつぶすなら、まん中を1かしよつぶす。食ひんトレーは1日に^{17.5}トン。新しいトレーになる。ビニールぶくろごとベルトコンベアーで上がっていき、きかいでビニールをやぶる。「ビニールぶくろの中には、2じゆうにぶくろを入れないでくださいね。」と言った。きかいでやぶれなくなり、しげんにならない。ようふくは海がいにおくられていく。「晴れた日に出さないとカビが生えるので、気をつけて。」

リサイクルセンターでは、ごみしゅうしゅう車、ショベルカーでごみをはこぶ人がいる。ごみを手で分ける人もいる。きかいをうごかす人などたくさんの人が一生けんめいはたらいていた。「ごみの出し方によって、リサイクルかごみになるかきまる。」と言う言ばが心にのこった。「きまりをみんなまもってね」と思った。ごみの出し方をみんなに教えてあげよう。家にかえってから、ごみの出し方についてせいそうの人に聞いてみると、びんをあらってなかったり、かんをつぶしていたり、ペットボトルはラベルがついたままになっていることがあるみたい。だから、今日聞いてきたごみの出し方を紙に書いて、地いきのけいじばんにはってもらった。

そのつぎに、ちがさきしつつみ十二天一ばんはいきぶつしよぶん場に行った。「サツカーの大会場？」わたしはびっくりした。人が1万人入れそう？とても大きくてふかい。ここは、はぎそののごみしよきやくしよりしせつでもやしたごみがいになつてうめられる。ちようど、ショベルカーがたくさんのすなをかけていた。はい

はかるいから、とんでいかないようにすなど水をかけていた。水は、さかになっていてポンプのところに行くようになっていいる。きかいにくすりが入っている。水をきれいにしして、つかえるようにする。きちんとまわりの家のことを考えているんだと思った。たくさんのごみのはいがここにうめられる。ちがさきではこれだけのごみが出ているとびっくりした。

7月31日。しでやっているびかキャンペーン「グリーンちがさき」に行った。朝7時。おまつりなのかと思うくらい、たくさんの人が一生けんめいなかおをしてごみをひろい、まるでしごとをしているようなかおだ。大きなごみぶくろにごみを入れていた。わたしもごみぶくろをもらった。ぐん手をもらい、いざスタート。お父さん、お母さん、わたしできようそう。わたしはもえないごみたん当。一時間で、てつのぼう、ペットボトル、かんのはへん、ケチャップのようき、ストロー、おべん当のようき、おかしのふくろ。ピンク、赤、き色のプラスチックのはへん。せんたくばさみ、スプーン、つり糸のうき

玉。たくさんのごみを見つけた。てつのぼうは、27センチだった。足にささったり、生きものが食べてのどにつっかかったら大へんだ。ごみぶくろいっぱいになったごみがたくさんあつまった。海は広いから、1人ではぜんぶひろえないけど、みんなでひろうとすごい力になるな。かえる時には、ごみがなくてきれいな海になっていた。まるで朝れんの時間、だれもつかっていないきれいなブルのようだった。海がほしのようにキラキラして見えた。わたしはうれしくなり、ごみひろいをして本当によかったと思った。クリーンちがさきは5月と7月に年2回行っているそうさ。きょ年クリーンちがさきにさんかした人は3080人だと聞いた。ちがさきの人は海をきれいにしてよとしてる人が多いなと思った。わたしはそう思ったので、海に来ている人にアンケートをしてみようと思った。

ごみのアンケートを海で100人にした。聞いてみて「ちがさきにすんでいる。」と言った人にだけアンケートを書いてもらう。アンケートを書いてくれた人にかんしゃ

のきもちで「わたしが書いたんです。」と言い、しをわたした。やさしそうで元気そうな人をさがした。アンケートでは、①ごみばこいがいでごみをすてたことはありますか②ちがさきではごみのポイすてをするど2万円とられるというじょうれいを知っていますか③海のごみを食べたり、体からまって、毎年、生き物が110万びきしんでいることを知っていますか④ちがさきではたくさんのだん体がビーチクリーンをしています。知っていますか⑤年れいとせいべつを教えて下さい、というしつもんを書いた。しには、こんなことを書いた。『みなさんあつまって下さい。』わたしは海のせかいの先生です。海に入ってさげびます。「さかなちゃん、おねがだからプラスチックのゴミは食べないでね。」タニシくんは、人間がすべらないようにコケを食べてくれるね。えらいよ。人間さんも目をつぶってさかなちゃんになってみてください。ごみを食べたかどうかという気もちですか？人間さんもしんじますよ』

アンケート1日目、8月5日。1時間で2人聞けた。

かんに入った。たばこのすいながら水につけてあって、まごがまちがえてのんでしまったと教えてくれた人がいた。とてもきけんなことだ。あと98人、もう多すぎだよ。もっと早くできればいいのに。アンケート2日目、8月10日。朝1時間で18人、夕方1時間で10人。がんばろうとゆう気を出した。2日目からはお母さんに「あっちで休んでいてね。」と言い、わたし1人で話しかけた。心で「自分、がんばれ」と言った。お母さんがとなりになるとはすかしいけど、1人だといろんなことを聞けるから楽しい。朝のさんぽで赤や白の花のしゃしんをとって、わたしに見せてくれた。それはすごくきれいだ。た。大学生の10人のグループがおにぎり、肉をやいていてけむりがすぐ出ている。おにいさんたちはパーベキユーをしていた。とてもいいにおいで、わたしも食べたかった。男の人にアンケートして、きねんしゃしんをとった。おねえさんがビニールにごみをひろっていた。プラスチックがたくさん入っていた。アンケート3日目、8月13日、3時から2時間で10人。ピンク、水色、むら

さきのカラフルな水ぎをきていた。ボールであそんだり、うきわでおよいでいる人が多かった。この日は時間が早かった。ので、あまりさん歩いてる人がいなかった。いっぱい話しかけたけど、ちがさきの人ではなかった。とてもくやしかった。海が人でうまるくらいあそびに来ている人が多かったけど、みんな、はし本とか八王子とかとおくから来る人が多いんだ。アンケート4日目、8月14日、朝2時間で18人、夕方2時間で18人。聞いた人でおいしやさんがたくさん話してくれた。海がめはクラゲとまちがえてビニールぶくろを食べちゃうことが多いと言った。年ばいの女の人が「えらいね。がんばってね。」と言ってボールペンをくれた。黒いすみがすなにとくさんちらばっていた。パーベキユーをした人がそのままおいていつちゃったのかな。かたづければいいのに。あとごみすて場ではないところにごみぶくろがたくさんおいてあった。5日目、8月15日、朝1時間で14人。たくさん話しかけた。7時から水えいの朝れんに間に合うように、しゅう中した。じょうれいのことか生きものが

しんでいることを教えてくれてありがとうと言われた。
6日目、8月16日、1時間で12人。朝れんのかえり、ベ
トナムの海はごみだらけだったと言っていた人がいた。
世かいの海はよごれているところが多くて、そのごみが
ちがさきにもながれて来ると教えてくれた。その人は世
かい1しゆうしたみたい。7日目、8月17日、1時間で
8人。さあ、もう少し。いよいよ今日でおわりだ。「ア
ンケートを100人にしましたが、あなたが100人目です。」
と言ったら、おにいさんは「すごいね、100人もやったん
だ。」と言った。ちがさきの人は100人みんなやさしくて、
きょうみをもつて話してくれた。さいしよは「ごめんね。
今日はいそがしいからだめだよ。」と言う人がいるかと
思った。でもそういう人は1人もいなくて、100人がぜん
いんやさしく答えてくれた。

つたから。公園にアイスの紙を。りゆうはストレス。②
ごみのポイすてをすると2万円とられることを知ってい
るか。知っているが17人で知らないが83人。せつかくつ
くつてくれたじょうれいだから、もつと知ってほしいな
と思う。③海のごみを食べたり、体にかまって生きも
のが110万びきしんでいることを知っているか。知ってい
る人が16人、知らない人が84人。みんなに知らせるため
にどうすればよいか。アンケートであざらしがあみにひ
つかかっているしゃしんを見せると、みんなはびつくり
していた。④ちがさきではたくさんのだん体がビーチク
リーンをしているが知っているか。知っているし、さん
かしたことがあるが45人。知ってるが、さんかしたこと
がないが49人。知らないが6人。ビーチクリーンを知っ
ている人が94人でとても多くてすごうれしい。こたえ
た人の半分がビーチクリーンをしていた。ちがさきの人
はちがさきの海をきれいにしたいんだな。わたしは6月
にはじめてビーチクリーンをしたけど、こんなに多くの
人がやっていたことは、はじめて知った。⑤年れいせい

べつ。10 だいい男が 2 人、女が 1 人。20 だいい男が 2 人、女が 2 人。30 だいい男が 1 人、女が 5 人。40 だいい男が 6 人、女が 19 人。50 だいい男が 15 人、女が 10 人。60 だいいいじょう男が 18 人、女が 19 人。ちがさきの人には朝、夕方に年ばいの人がさんぽに来る人が多い。あそびに来ている人はわかくて、ちがさきの人ではない人が多いことが分かった。ちがさきではたくさんの人がビーチクリーンをしている。ちがさきの海をよごしているのは、バーベキューや海水よくをしている人かな。ちがさきの人ではないのかな。海にごみをすてないために、しやくしよに行つて、こうしたらいいですよと話してみることにした。

お母さんが「1 人で行く？ それともお母さんといっしょに行く？」と聞いた。わたしは 1 人でしやくしよの人に話すとやった。なぜなら、海でアンケートをした時に、1 人でうまくできたから自しんがついた。しやくしよのかんきようほせんかに行くとき、「どうぞこちらにすわって下さい。」と言われ、自分が大人みたいな気もちがした。ゴミについて海に行つてちがさきの人 100 人にア

ンケートをした話をして、アンケートの人数をしやくしよの人 2 人に教えた。そして今、海にあるかんばんをすつとつかうのかな、こんなふうにかえればいいのになど話した。海のごみをへらすには、海に大きいかんばんをたてて、そこに「かならず見て下さい」と書くといい。

ビーチクリーンをしている写真や、ビーチクリーンで出たごみの山の写真をかんばんにのせるといい。あざらしがあみに引かかっている写真や海がめがビニールぶくろを食べてしまい、しんでしまった写真をのせたらいいな。アンケートで、あざらしがあみに引かかかってしんでしまった写真をのせたら、みんな「とてもかわいそうだね。」と言つてたから。プラスチックを食べた魚を人が食べたらくになる、ポイすては 2 万円とられるとちがさきのじょうれいに書いてあることをかんばんに書くといいと話した。すると、しやくしよの人は「ちようどかんばんをかえようと思つていたんだよ。」とやさしく言つてくれた。そして、もつていったアンケートのこたえとわたしが書いたしど、こうしたらどうですかという

の書いた紙をコピーしていた。しやくしよのみんなに見せて、それをかんばんにしてくれるのかな。

このお話を書いて、今まで知らなかったことが分かったり、今までできなかったことができるようになったよ。しやくしよの人がごみのポイ捨てをしないように、どりよくしてくれている。ごみはリサイクルしてまたつかえるようになる。リサイクルやごみしょうきゃくしせつ、はいきぶつさいしゅうしよぶん場でごみをへらそうと一生けんめいお仕事をしてきている。ちがさきの人は海が大すきで、たくさんの人がやさしい気もちをもっていることが分かった。アンケートやしやくしよで話す時、さいしよはきんちようしたけど、1人で人にきちんと話せるようになった。

ちきゆうはつながっていて、みんなのものだ。生きものたちのもの、人間のもの。わたしはこれからもちがさきの海をきれいにしていきたい。ちがさきに来る生きものたちやおきやくさんに言っておあげる。「ごみがないきれいな海へようこそ。」